

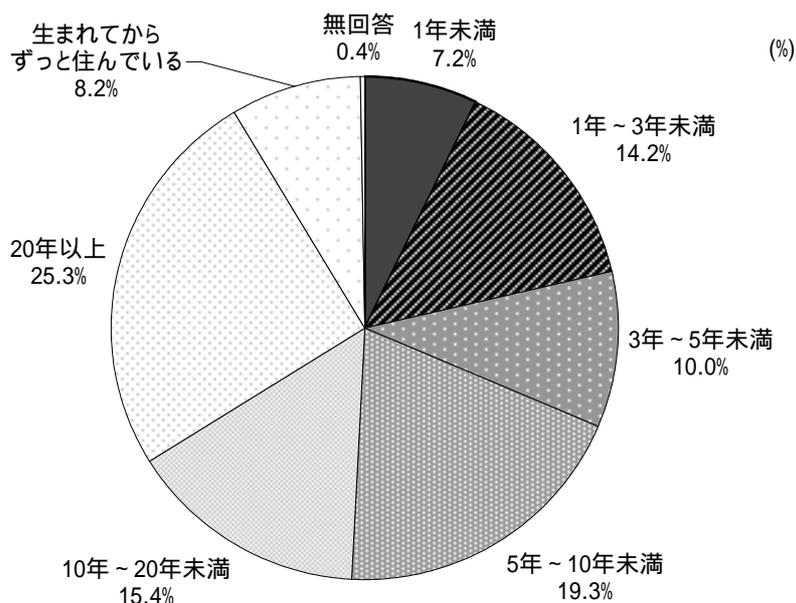
# 調査結果

## 1. 市民の定住状況

### (1) 居住年数

問1 さっそくですが、今のところにお住まいになって、何年になりますか。(1つだけ)

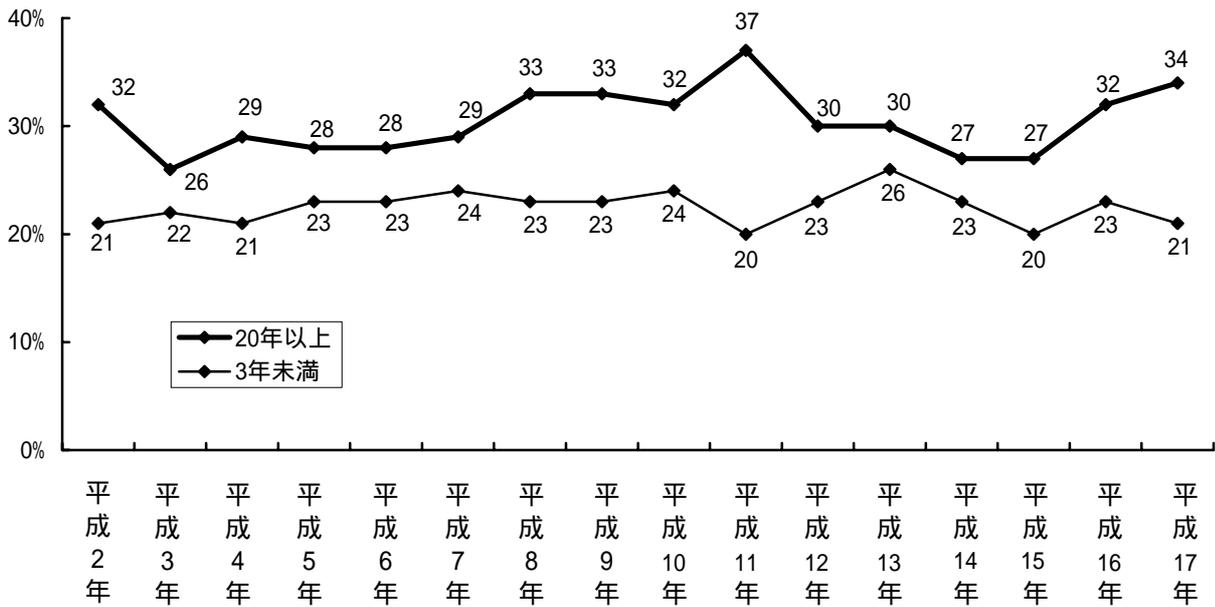
図 1 - 1



【全体 = 988】

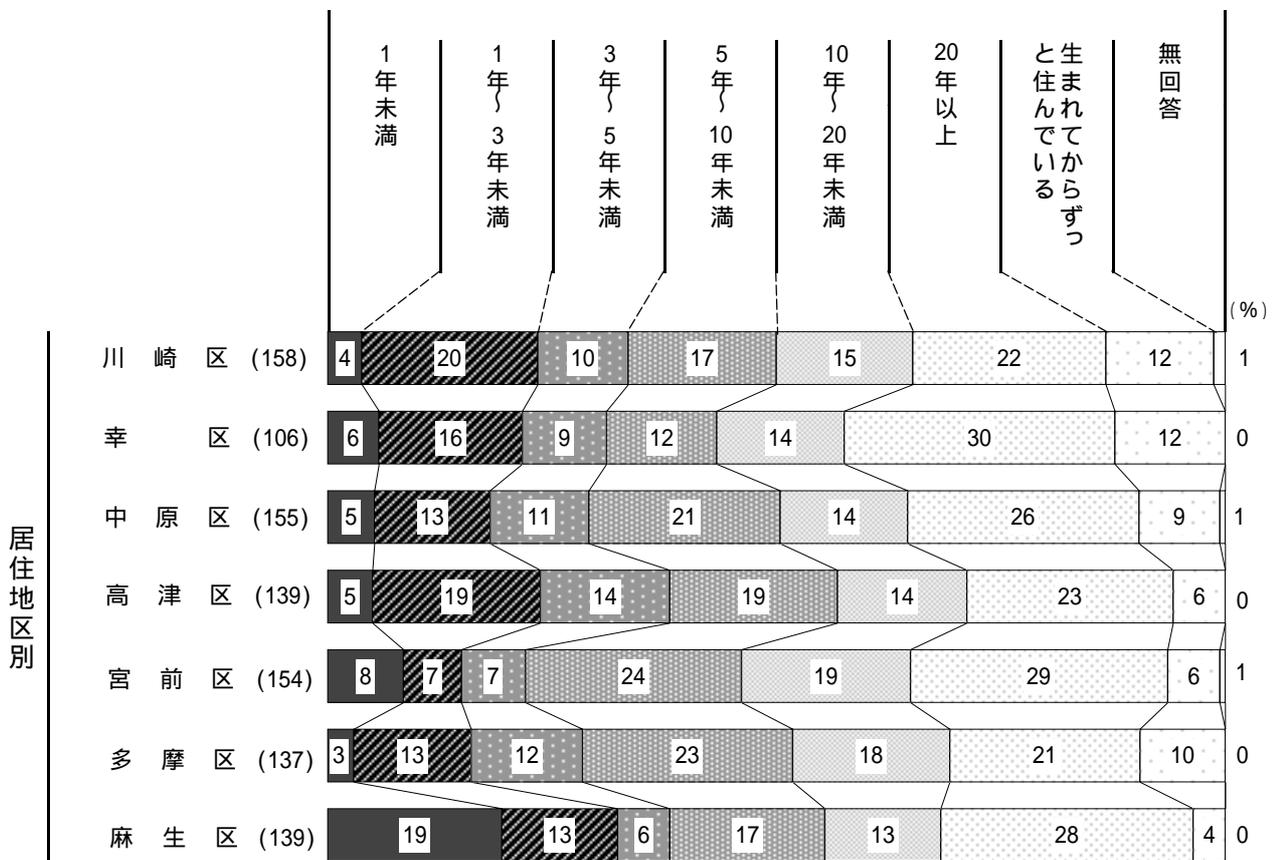
居住年数についてたずねたところ、「20年以上」が最も多く25.3%である。これに「生まれてからずっと住んでいる」(8.2%)を合わせた 長期居住者 は33.5%となっている。「5年～10年未満」(19.3%)と「10年～20年未満」(15.4%)を合わせた 中期居住者 は34.7%、「1年未満」(7.2%)と「1年～3年未満」(14.2%)と「3年～5年未満」(10.0%)を合わせた 短期居住者 は31.4%となっている。

図 1 - 2 過去の推移



過去の推移で、昨年と比較すると 長期居住者 の割合は32%から34%へ2%増えている。一方、「3年未満」は、23%から21%へ2%減っている。

図 1 - 3 居住地区別



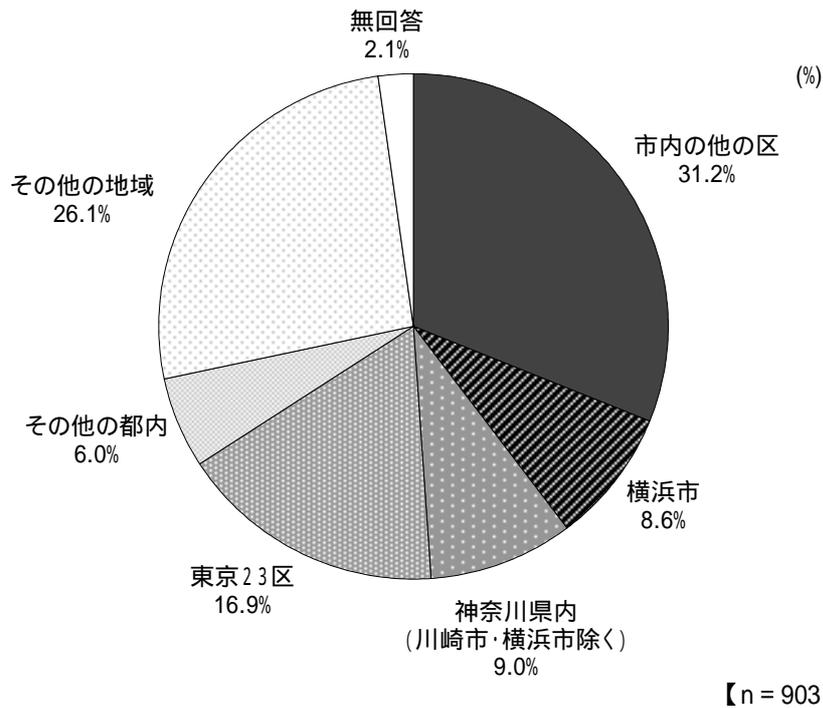
居住地区別では、 長期居住者 の割合は幸区が42%で最も多くなっている。

(1) - 1 以前の居住地

(問1で、1～6のいずれかを答えた方に)

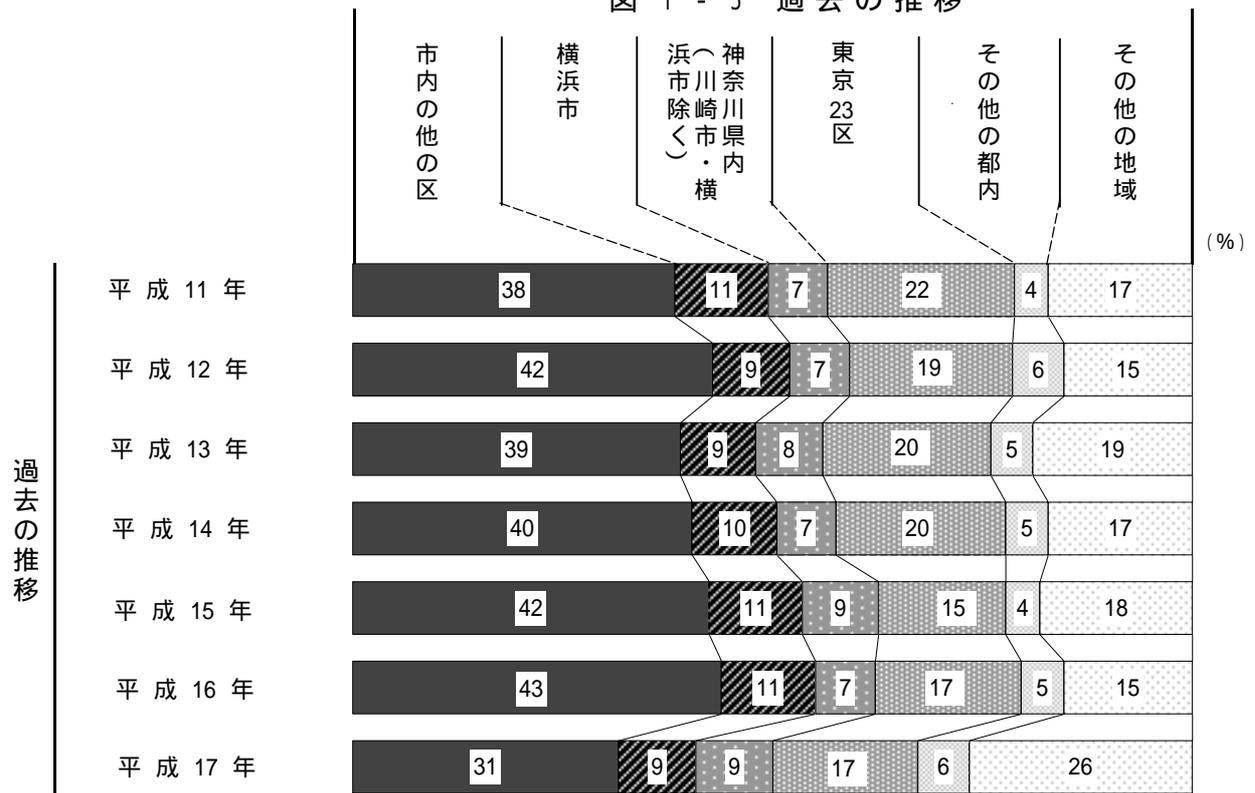
問1 - 1 今のところに住む以前はどちらにお住まいでしたか。(1つだけ)

図 1 - 4



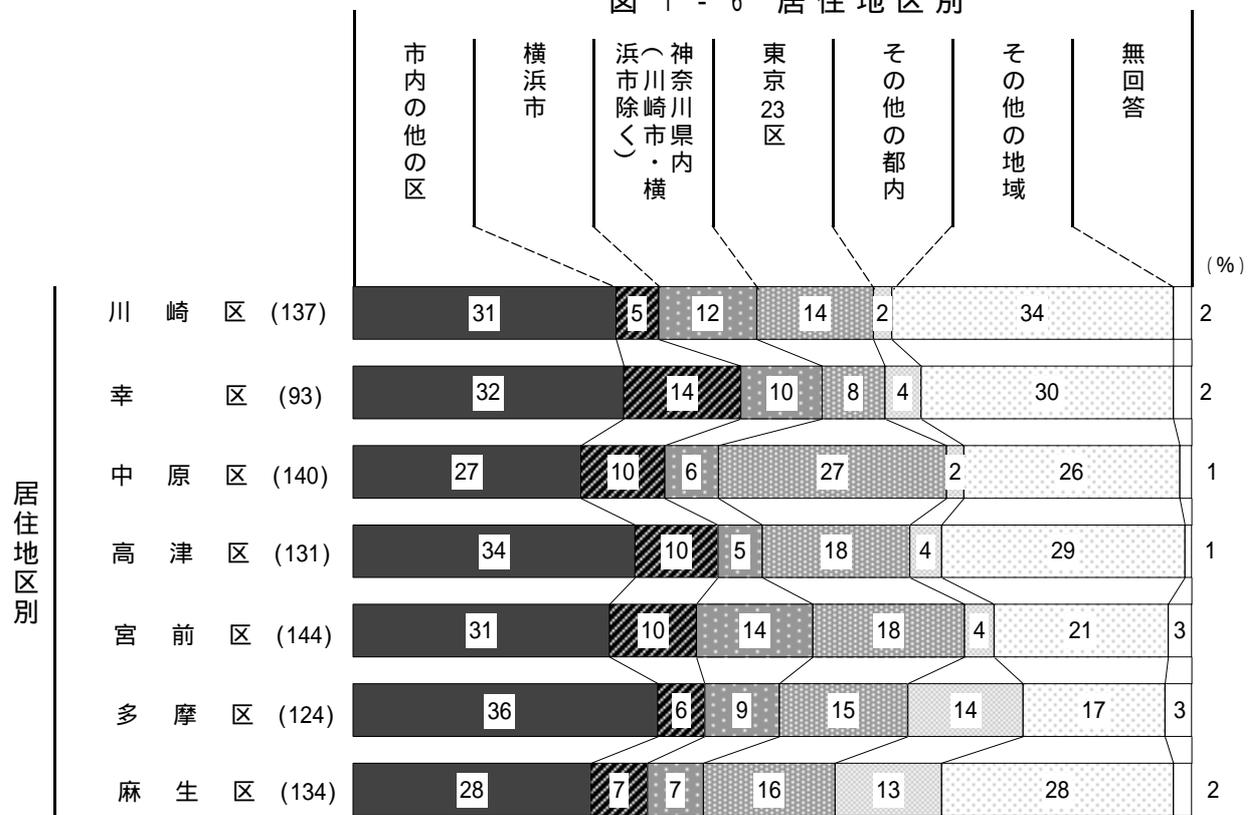
以前の居住地をたずねたところ、「市内の他の区」が31.2%で最も多く、次いで「その他の地域」(26.1%)、「東京23区」(16.9%)、「神奈川県内(川崎市・横浜市除く)」(9.0%)、「横浜市」(8.6%)、「その他の都内」(6.0%)の順となっている。

図 1 - 5 過去の推移



過去の推移で、昨年と比較すると「市内の他の区」が、43%から31%へ減少している。  
 ( 17年度「市内の他の区」、16年度以前「市内の他のところ」と選択肢を変更している )

図 1 - 6 居住地区別

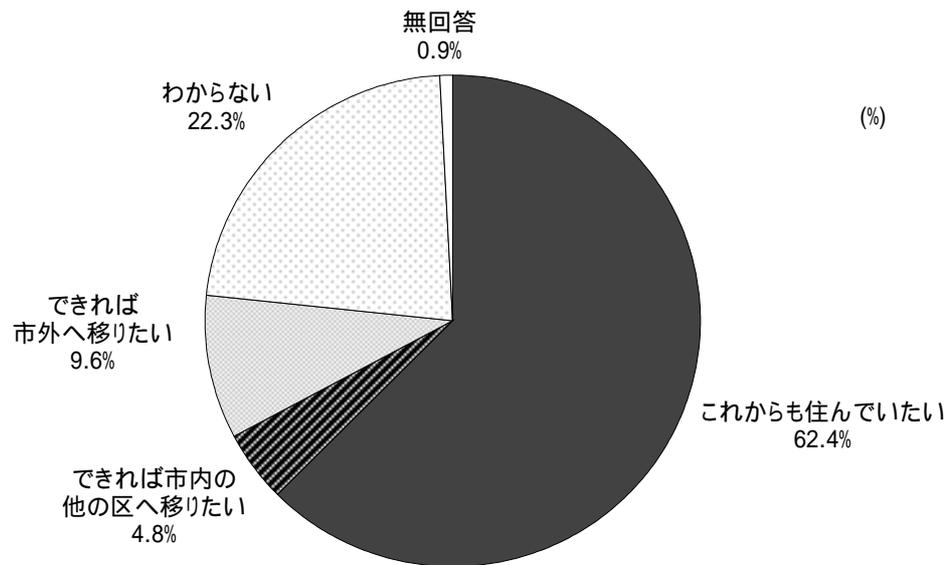


居住地区別では、「市内の他の区」の割合が最も多い区は、多摩区(36%)、次いで高津区(34%)である。中原区では「東京23区」からの移住が27%と多い。

## (2) 定住意向

問2 あなたは、これからも今のところにお住まいになりたいですか。(1つだけ)

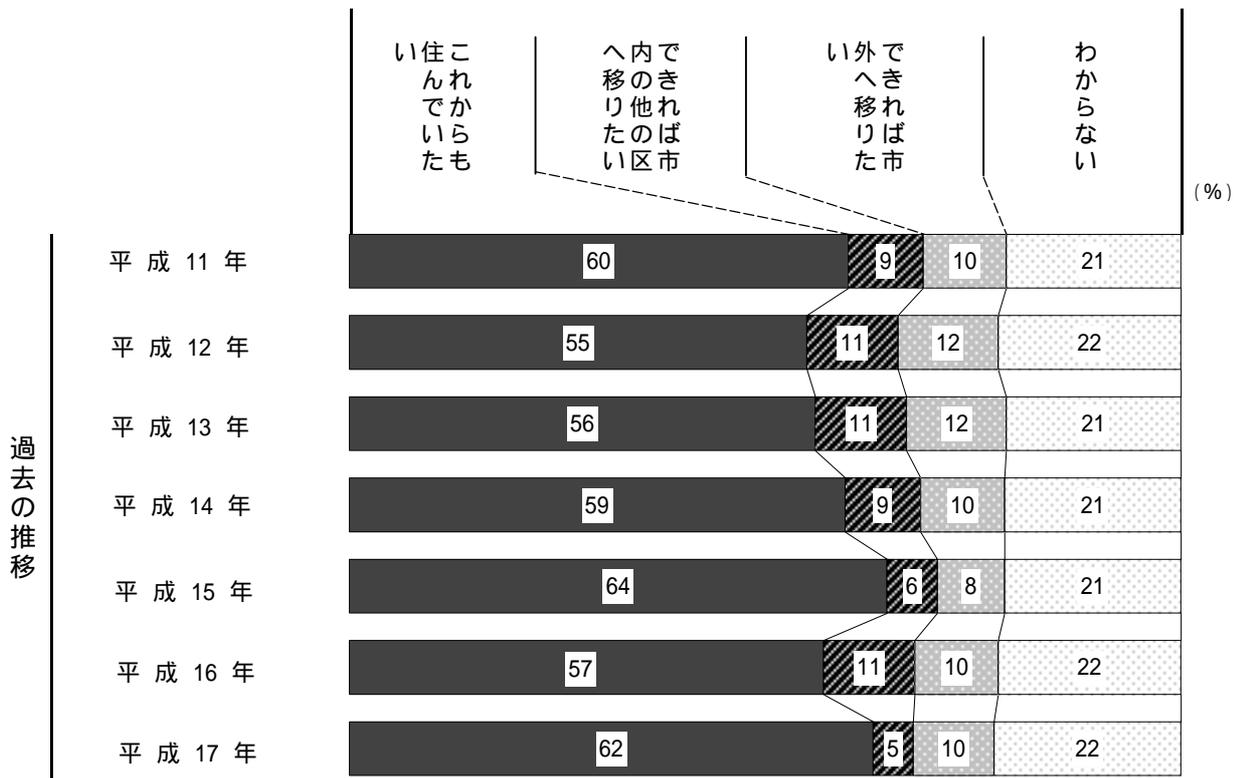
図 2 - 1



【全体 = 988】

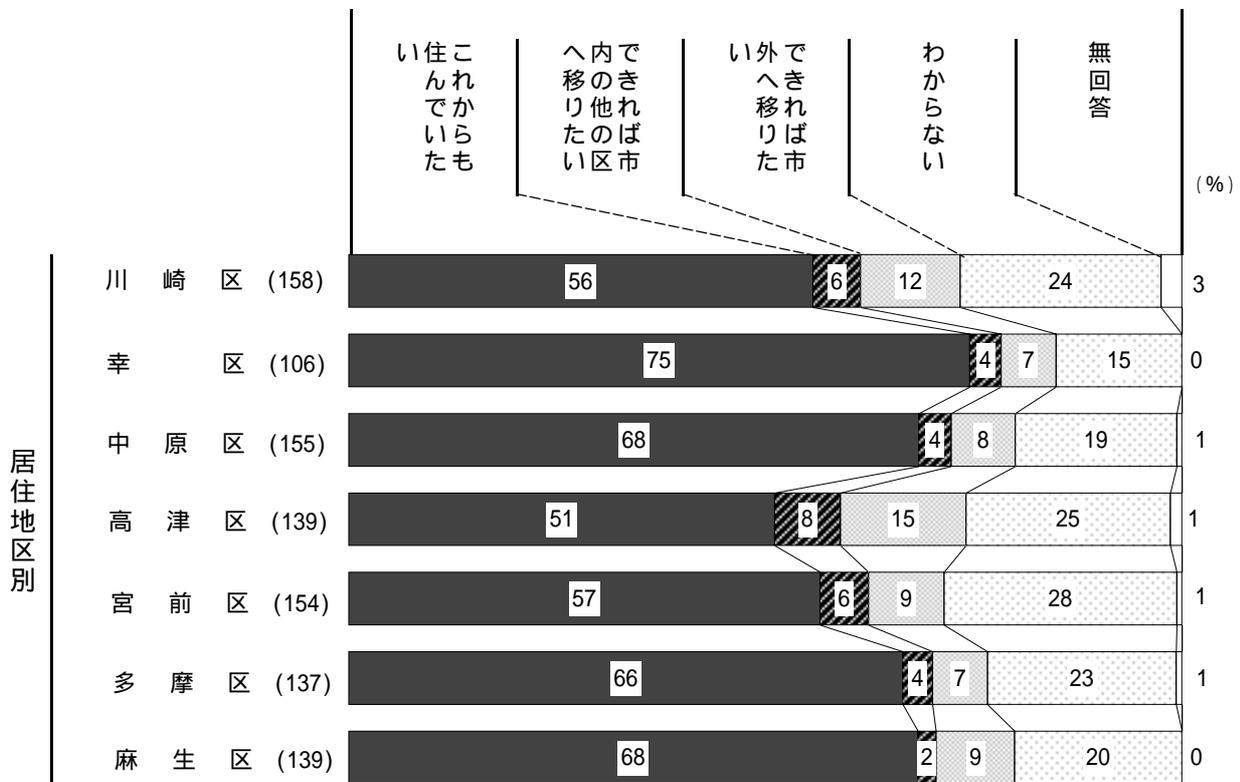
定住意向については、「これからも住んでいたい」が62.4%を占めている。一方、「できれば市内の他の区へ移りたい」と「できれば市外へ移りたい」を合計した転居意向は14.4%である。

図 2 - 2 過去の推移



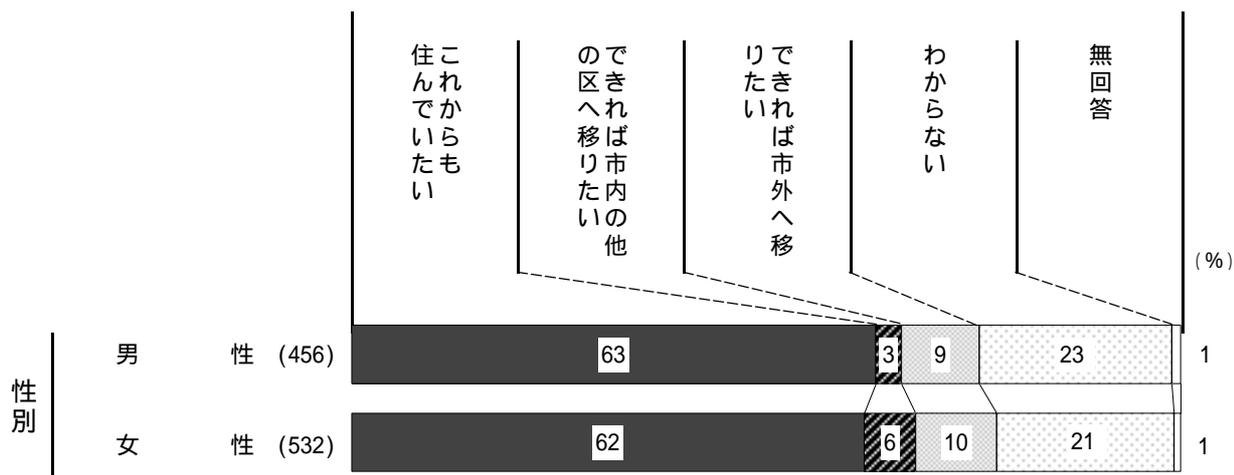
過去の推移では、昨年と比較すると定住意向は57%から62%と5%増えている。また、「できれば市内の他の区へ移りたい」が昨年の11%から5%へ6%減っている。

図 2 - 3 居住地区別



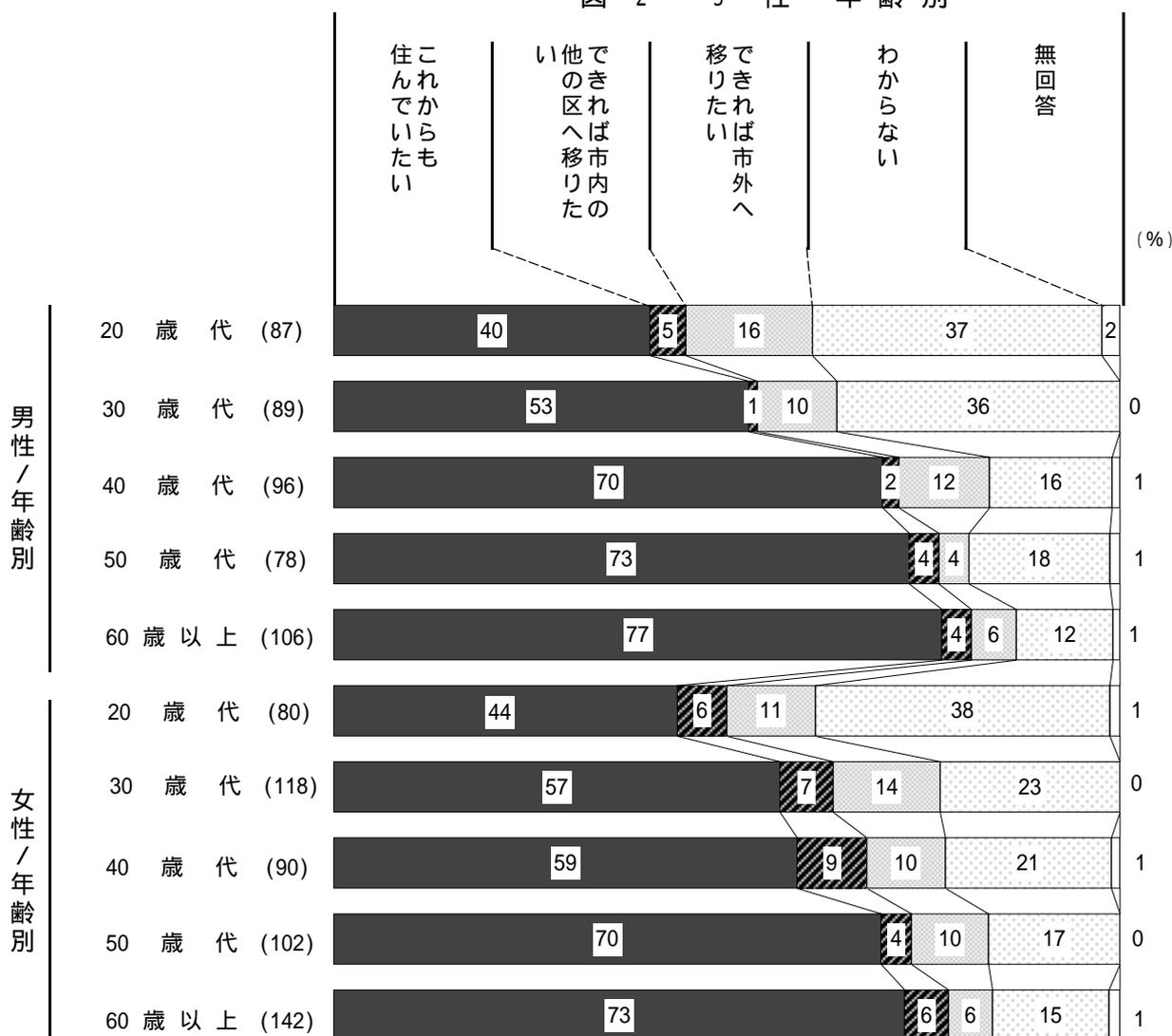
居住地区別では、定住意向が最も高いのは幸区（75%）であり、次いで中原区（68%）、麻生区（68%）となっている。高津区は定住意向が51%で他の区と比べて低くなっている。

図 2 - 4 性別



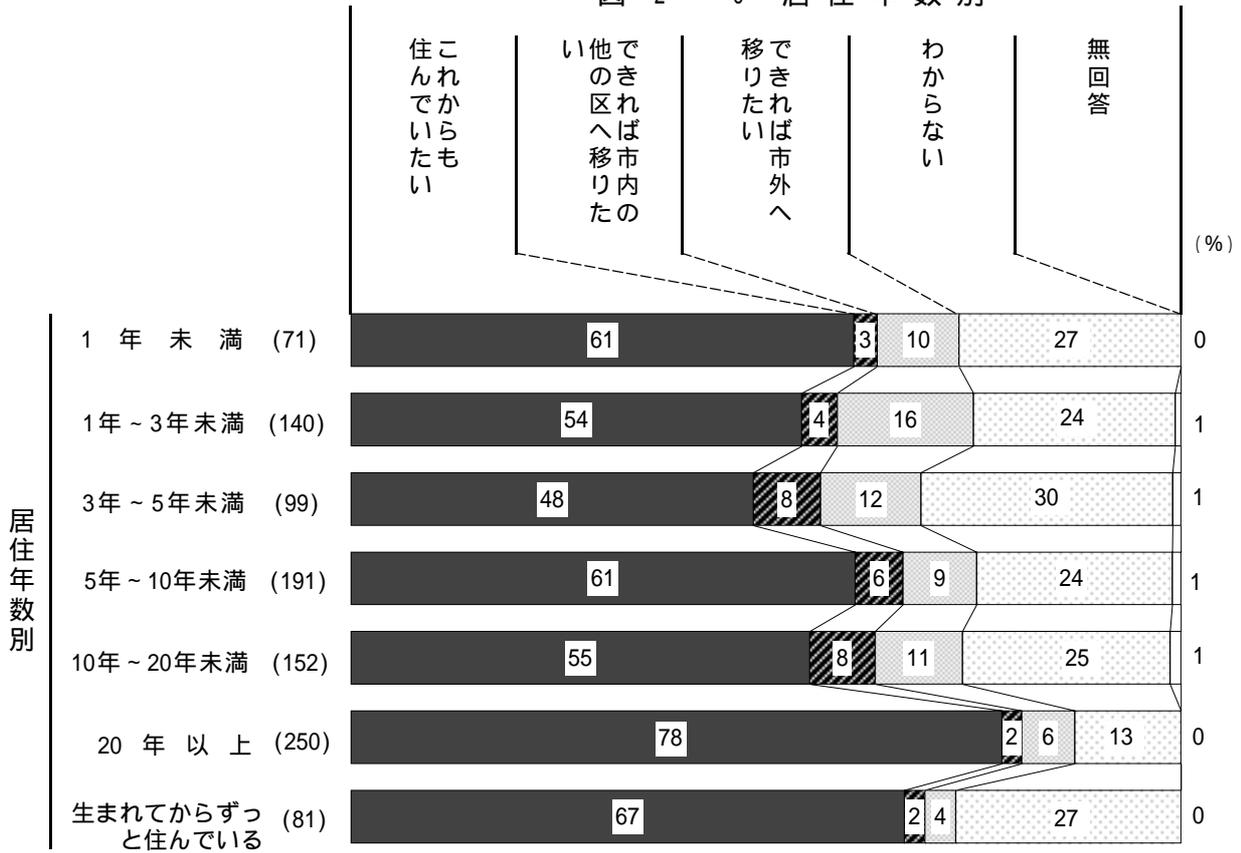
性別では、定住意向は男女ともほぼ同率である。

図 2 - 5 性・年齢別



性・年齢別では、定住意向は男女ともに年齢が上がるにつれて上昇する傾向である。

図 2 - 6 居住年数別



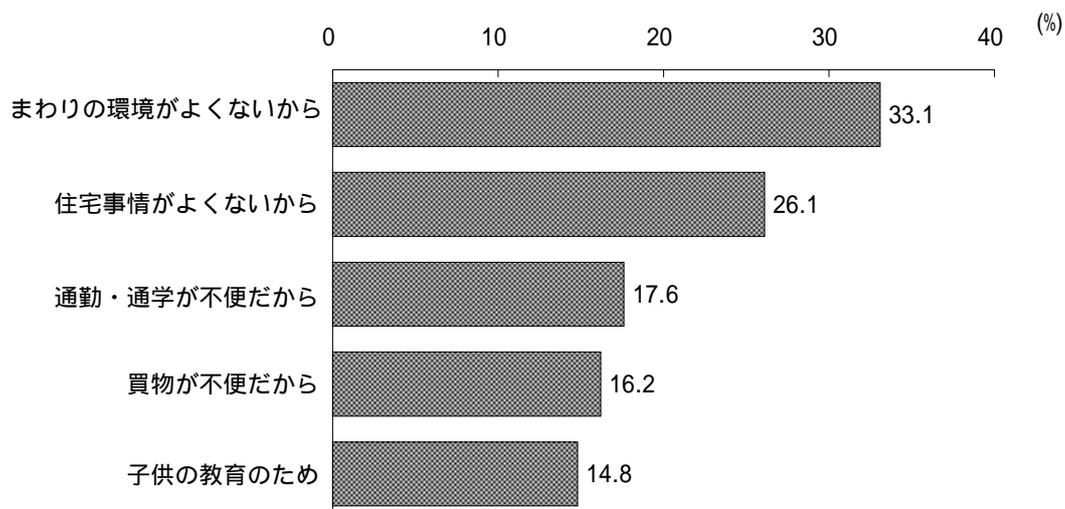
居住年数別では、定住意向が最も高いのは「20年以上」の78%であり、次いで「生まれてからずっと住んでいる」の67%と 長期居住者 の定住意向が高い傾向がある。一方、定住意向が最も低いのは、「3～5年未満」の48%である。

## (2) - 1 転居意向の理由

(問2で、2または3と答えた方に)

問2 - 1 今のところから移りたいという主な理由は何ですか。次の中から、2つまで選んでください。(2つまで)

図 2 - 7



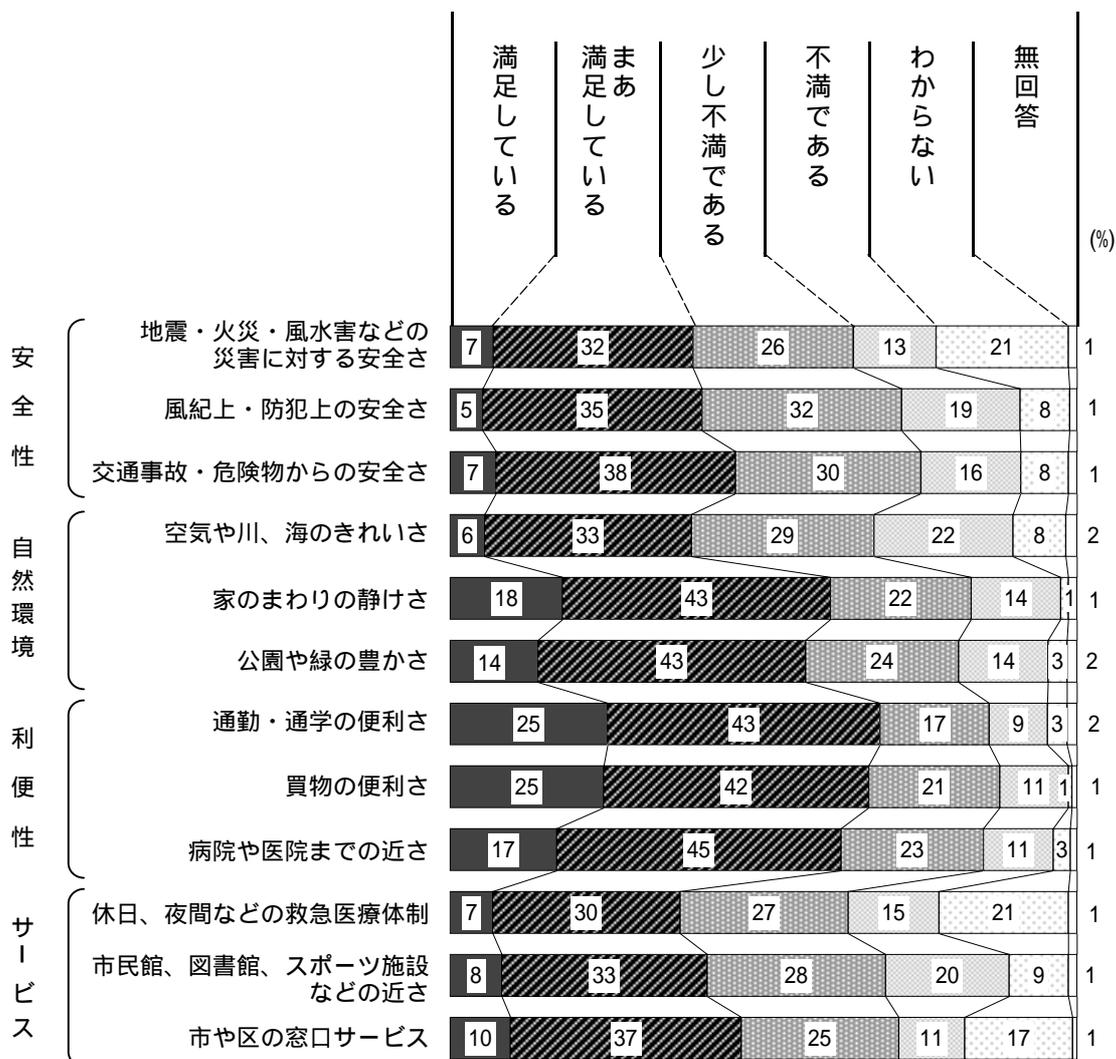
【n = 142】

転居意向の理由の中で最も多いのが、「まわりの環境がよくないから」の33.1%である。次いで、「住宅事情がよくないから」(26.1%)、「通勤・通学が不便だから」(17.6%)、「買い物が不便だから」(16.2%)、「子供の教育のため」(14.8%)の順となっている。

2. 生活環境の評価  
 (1) 生活環境満足度

問3 あなたの住まいの周りの生活環境についてお伺いします。次にあげることについてどの程度満足していますか。(各項目ごとにあてはまる番号を1つだけ)

図 3 - 1



【全体 = 988】

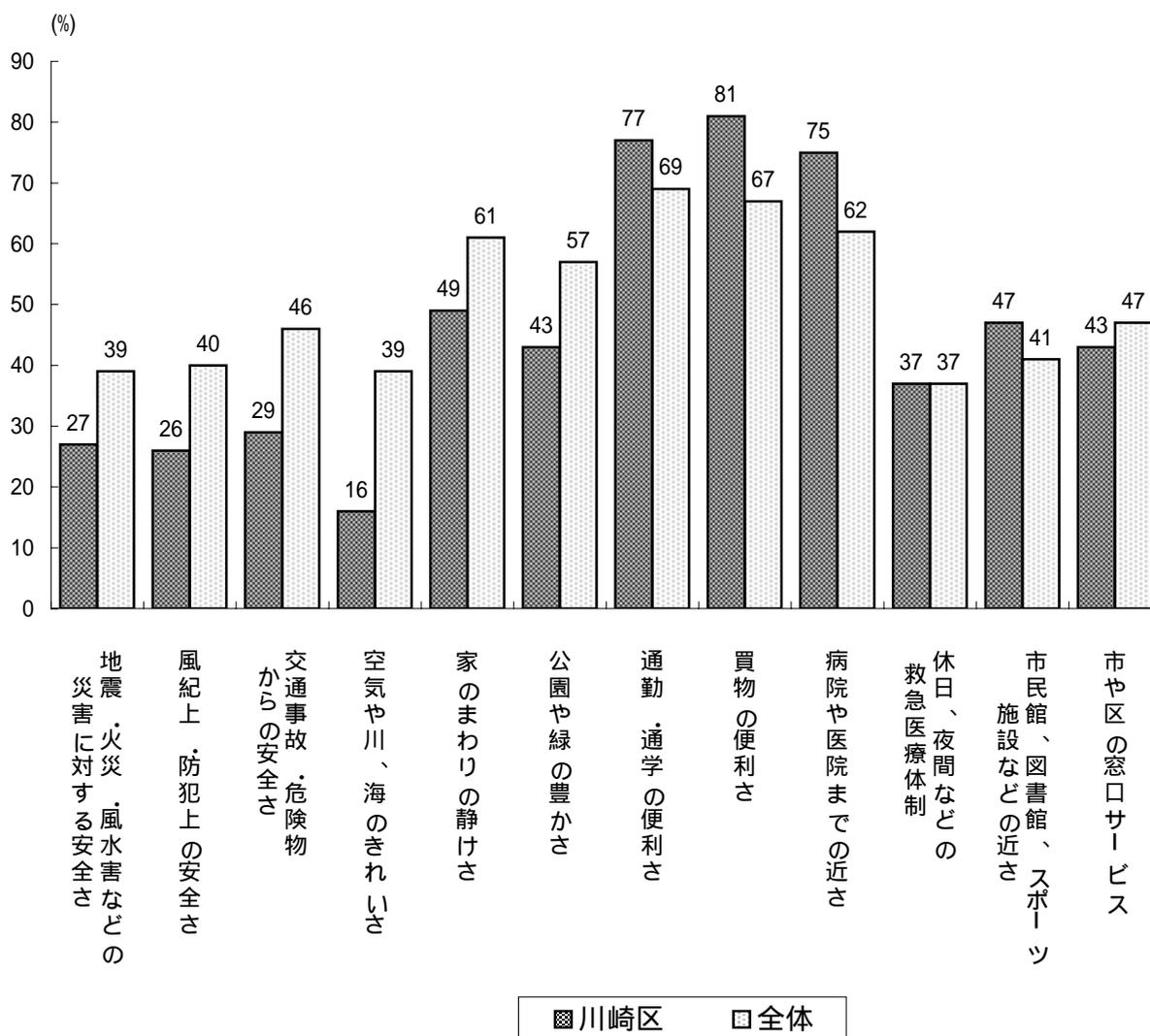
生活環境満足度では、「満足している」と「まあ満足している」を合計した満足度が高いのは、「通勤・通学の便利さ」(68%)、「買物の便利さ」(67%)、「病院や医院までの近さ」(62%)、「家のまわりの静けさ」(61%)で60%を上回っている。一方、満足度が最も低いのは、「休日、夜間などの救急医療体制」(37%)である。

## 川崎区生活環境満足度

「満足している」+「まあ満足している」= 合計の率で表示

(%)	地震・火災・風水害などの災害に対する安全さ	風紀上・防犯上の安全さ	交通事故・危険物からの安全さ	空気や川、海のきれいさ	家のまわりの静けさ	公園や緑の豊かさ	通勤・通学の便利さ	買物の便利さ	病院や医院までの近さ	休日、夜間などの救急医療体制	市民館、図書館、スポーツ施設などの近さ	市や区の窓口サービス
川崎区	27	26	29	16	49	43	77	81	75	37	47	43
全体	39	40	46	39	61	57	69	67	62	37	41	47

図 3 - 2 川崎区生活環境満足度



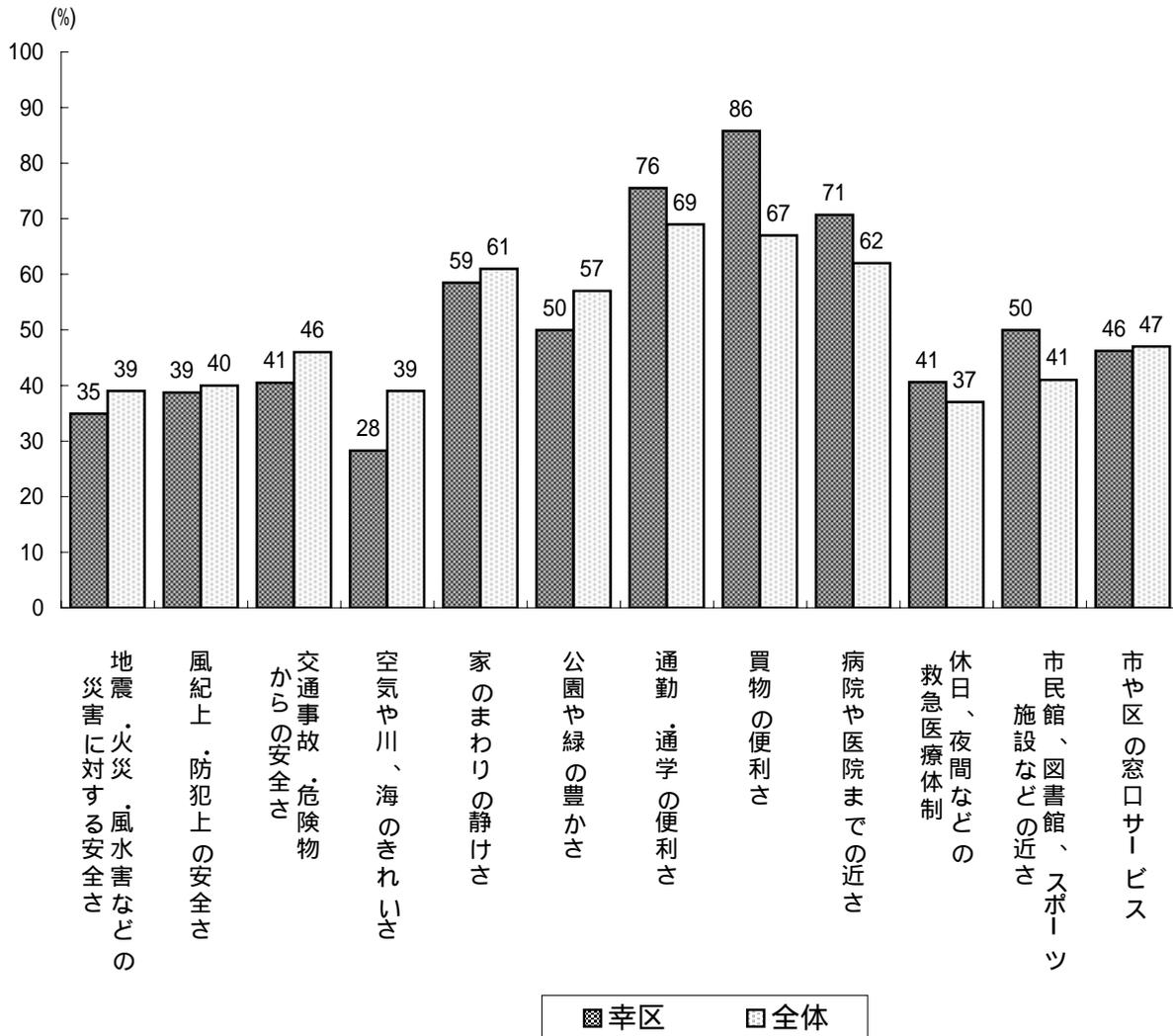
川崎区的生活環境満足度で、市全体平均の満足度を上回っているのは、「買物の便利さ」(81%)、「通勤・通学の便利さ」(77%)、「病院や医院までの近さ」(75%)、「市民館、図書館、スポーツ施設などの近さ」(47%)である。一方、安全性、自然環境は市全体平均を10%以上下回っている。

## 幸区生活環境満足度

「満足している」+「まあ満足している」= 合計の率で表示

(%)	地震・火災・風水害などの災害に対する安全さ	風紀上・防犯上の安全さ	交通事故・危険物からの安全さ	空気や川、海のきれいさ	家のまわりの静けさ	公園や緑の豊かさ	通勤・通学の便利さ	買物の便利さ	病院や医院までの近さ	休日、夜間などの救急医療体制	市民館、図書館、スポーツ施設などの近さ	市や区の窓口サービス
幸区	35	39	41	28	59	50	76	86	71	41	50	46
全体	39	40	46	39	61	57	69	67	62	37	41	47

図 3 - 3 幸区生活環境満足度



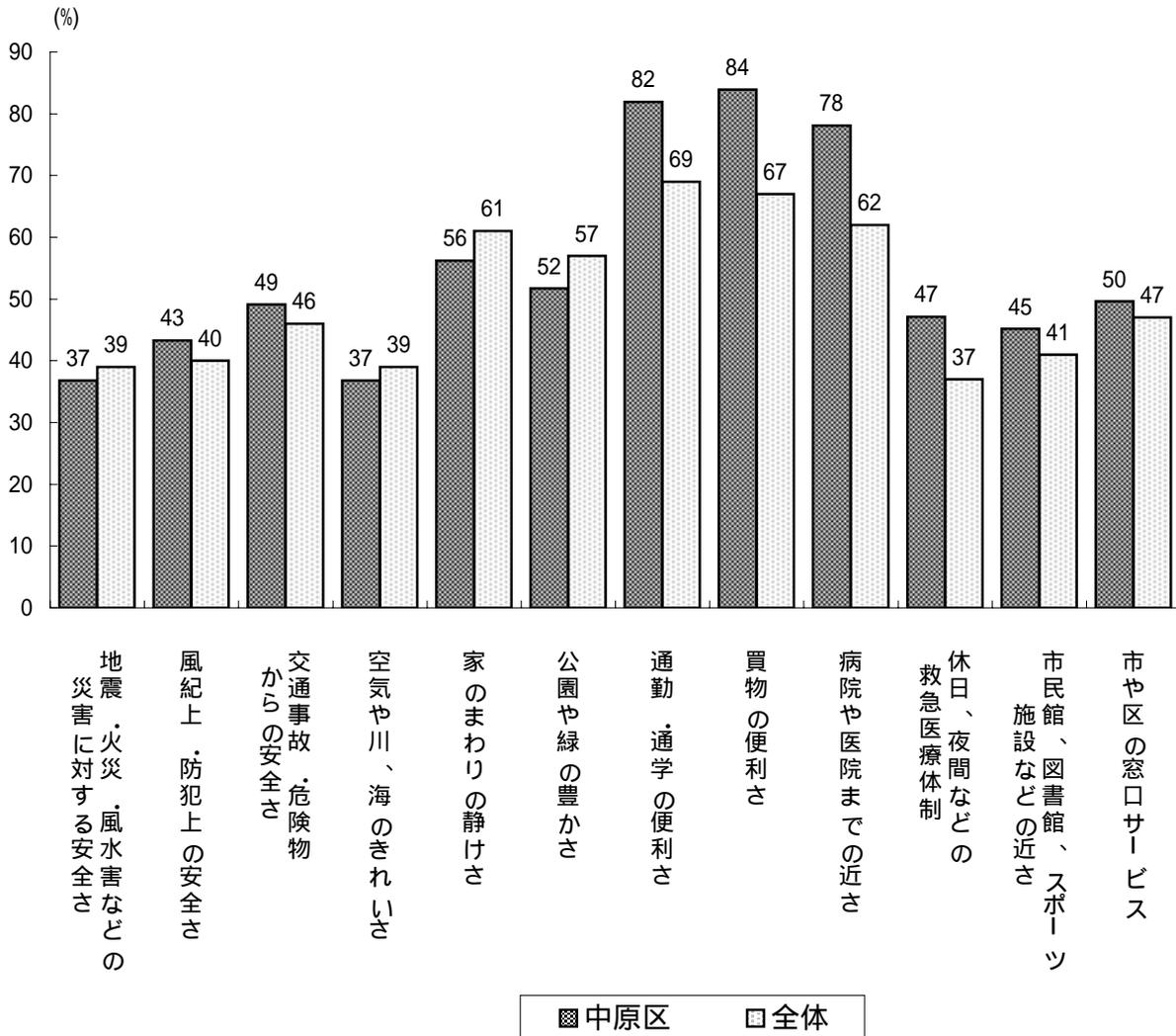
幸区の生活環境満足度では、市全体平均の満足度を上回っているのは、「買物の便利さ」(86%)、「通勤・通学の便利さ」(76%)、「病院や医院までの近さ」(71%)、「市民館、図書館、スポーツ施設などの近さ」(50%)、「休日、夜間などの救急医療体制」(41%)である。

## 中原区生活環境満足度

「満足している」+「まあ満足している」= 合計の率で表示

(%)	地震・火災・風水害などの災害に対する安全さ	風紀上・防犯上の安全さ	交通事故・危険物からの安全さ	空気や川、海のきれいさ	家のまわりの静けさ	公園や緑の豊かさ	通勤・通学の便利さ	買物の便利さ	病院や医院までの近さ	休日、夜間などの救急医療体制	市民館、図書館、スポーツ施設などの近さ	市や区の窓口サービス
中原区	37	43	49	37	56	52	82	84	78	47	45	50
全体	39	40	46	39	61	57	69	67	62	37	41	47

図 3 - 4 中原区生活環境満足度



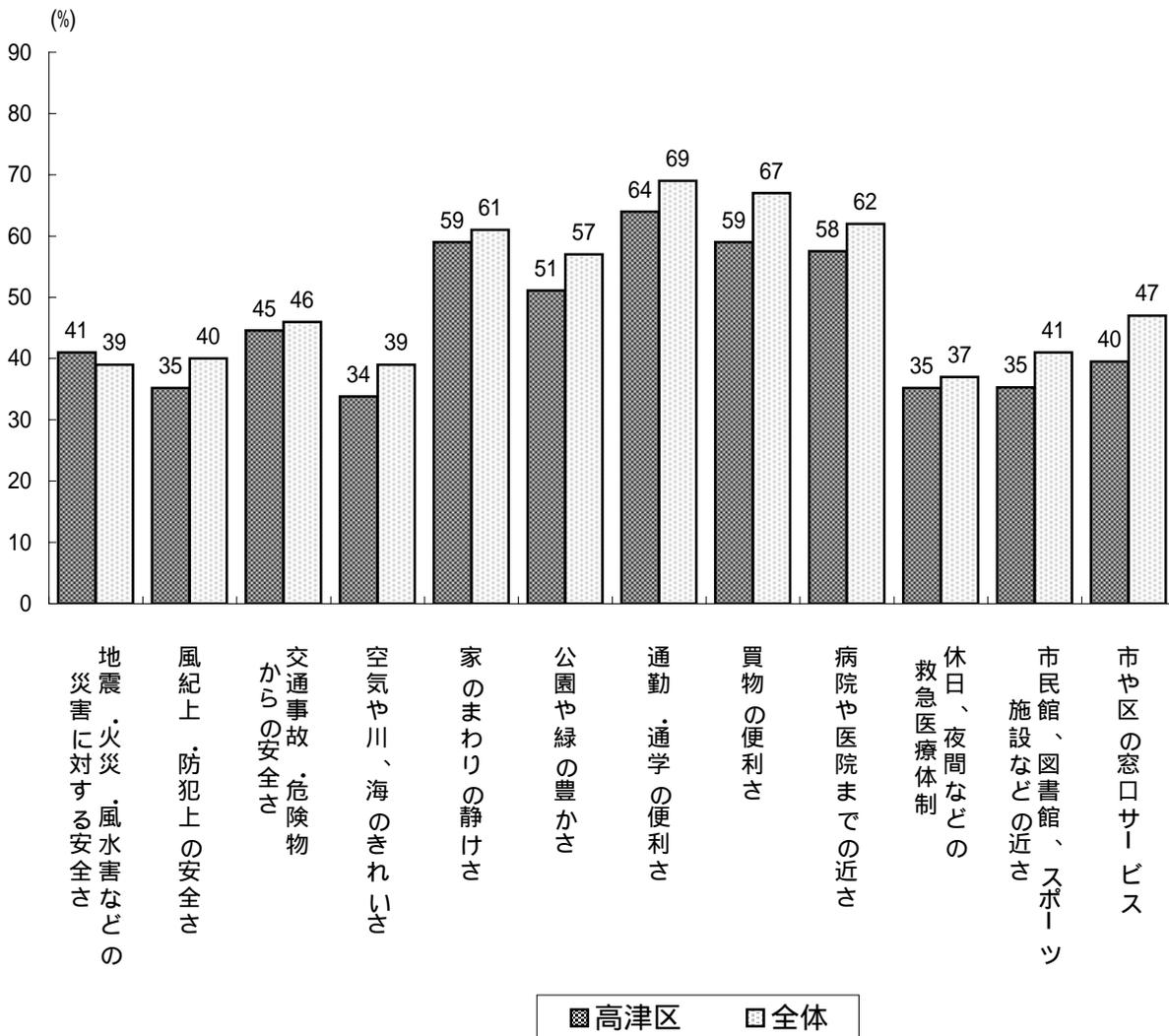
中原区的生活環境満足度では、「買物の便利さ」(84%)、「通勤・通学の便利さ」(82%)、「病院や医院までの近さ」(78%)の利便性が、市全体平均の満足度より10%以上高くなっている。一方、「公園や緑の豊かさ」(52%)、「家のまわりの静けさ」(56%)は、市全体平均の満足度より5%低い。

## 高津区生活環境満足度

「満足している」+「まあ満足している」= 合計の率で表示

(%)	地震・火災・風水害などの災害に対する安全さ	風紀上・防犯上の安全さ	交通事故・危険物からの安全さ	空気や川、海のきれいさ	家のまわりの静けさ	公園や緑の豊かさ	通勤・通学の便利さ	買物の便利さ	病院や医院までの近さ	休日、夜間などの救急医療体制	市民館、図書館、スポーツ施設などの近さ	市や区の窓口サービス
高津区	41	35	45	34	59	51	64	59	58	35	35	40
全体	39	40	46	39	61	57	69	67	62	37	41	47

図 3 - 5 高津区生活環境満足度



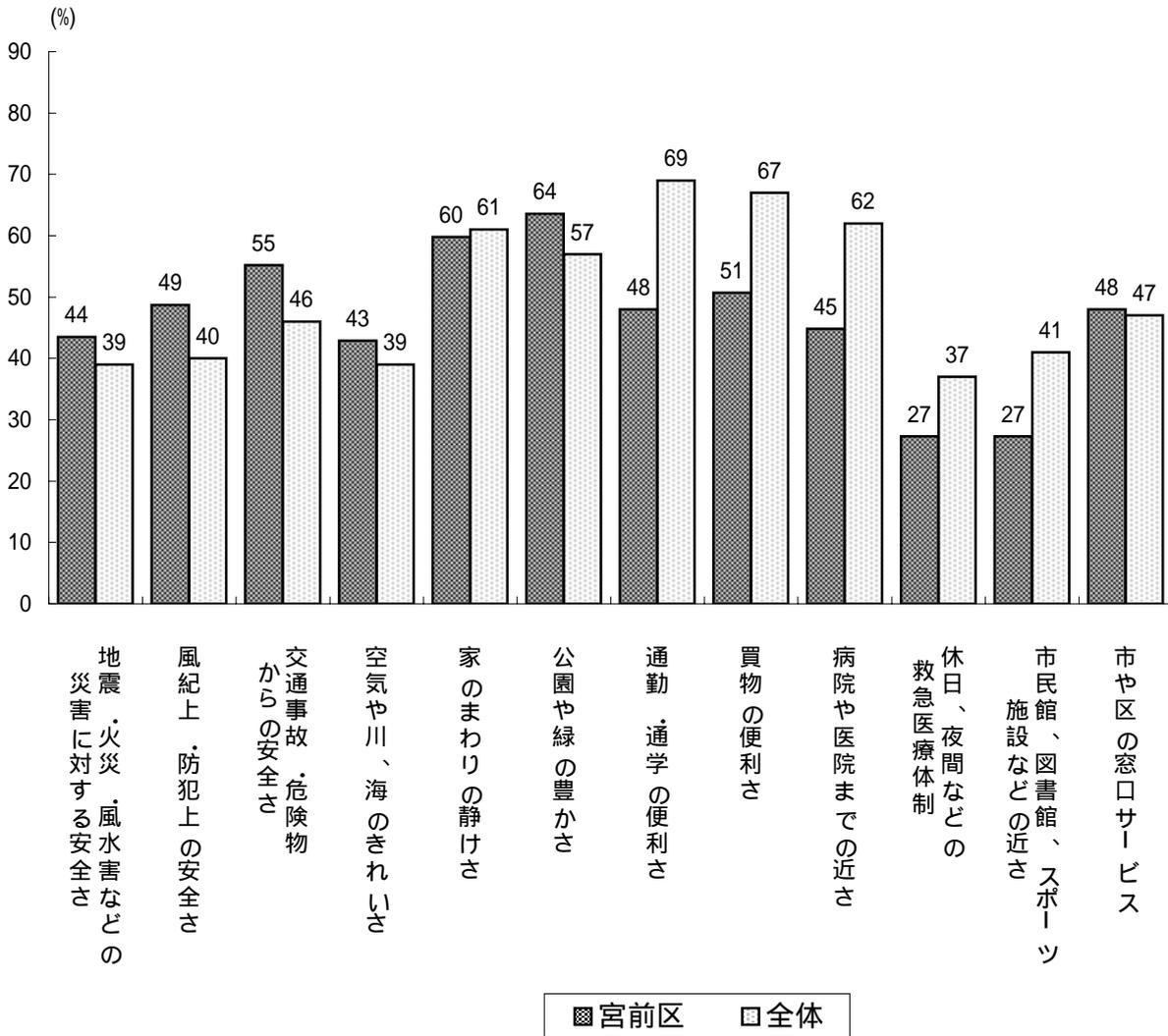
高津区的生活環境満足度では、「地震・火災・風水害などの災害に対する安全さ」(41%)のみが市全体平均の満足度を上回り、その他の項目はすべて市全体平均の満足度を下回っている。

## 宮前区生活環境満足度

「満足している」+「まあ満足している」= 合計の率で表示

(%)	地震・火災・風水害などの災害に対する安全さ	風紀上・防犯上の安全さ	交通事故・危険物からの安全さ	空気や川、海のきれいさ	家のまわりの静けさ	公園や緑の豊かさ	通勤・通学の便利さ	買物の便利さ	病院や医院までの近さ	休日、夜間などの救急医療体制	市民館、図書館、スポーツ施設などの近さ	市や区の窓口サービス
宮前区	44	49	55	43	60	64	48	51	45	27	27	48
全体	39	40	46	39	61	57	69	67	62	37	41	47

図 3 - 6 宮前区生活環境満足度



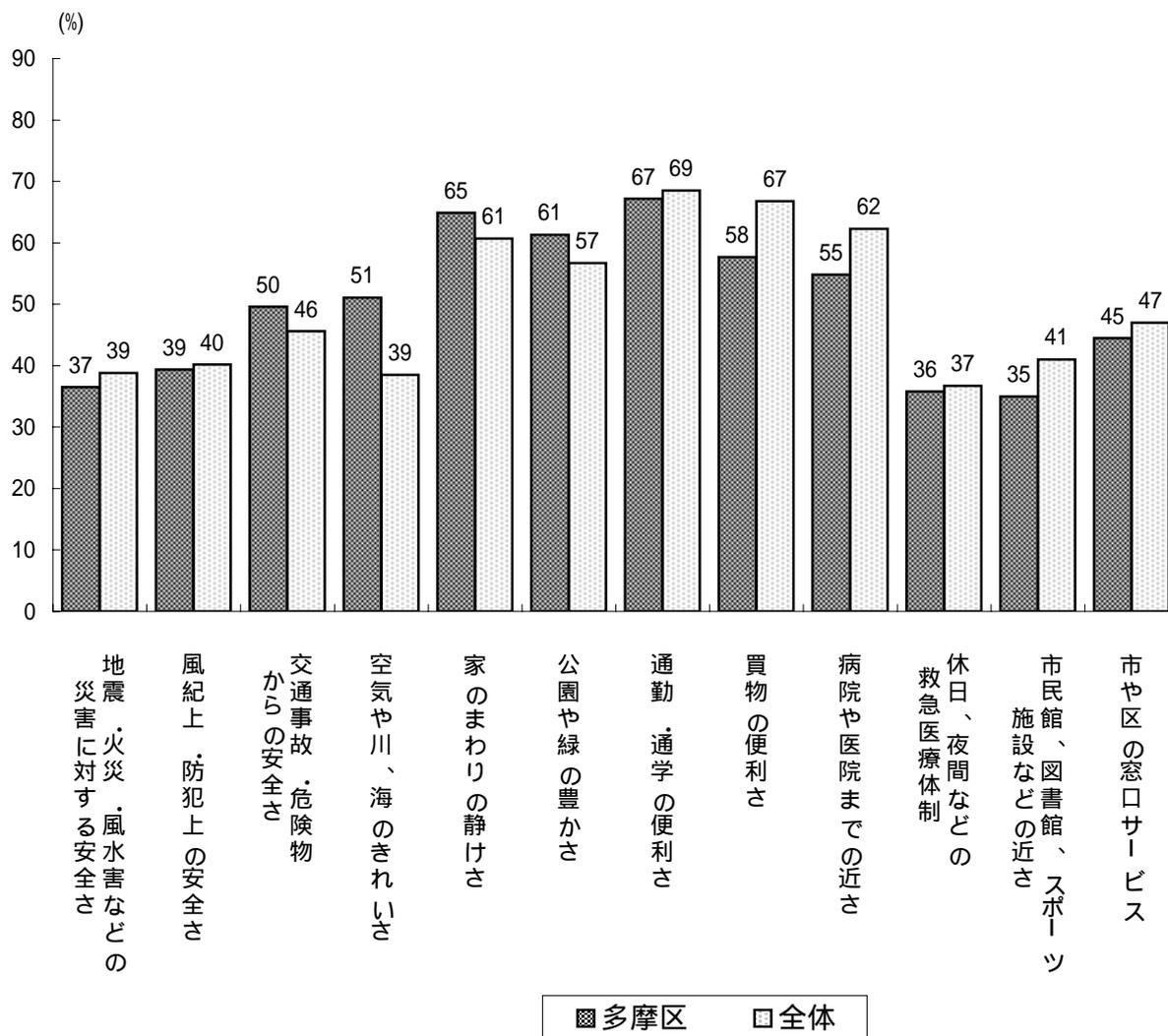
宮前区的生活環境満足度では、「交通事故・危険物からの安全さ」(55%)、「風紀上・防犯上の安全さ」(49%)は市全体平均の満足度より9%上回っている。一方、「通勤・通学の便利さ」、「買物の便利さ」、「病院や医院までの近さ」、「休日、夜間などの救急医療体制」、「市民館、図書館、スポーツ施設などの近さ」は市全体平均の満足度より10%以上下回っている。

## 多摩区生活環境満足度

「満足している」+「まあ満足している」= 合計の率で表示

(%)	地震・火災・風水害などの災害に対する安全さ	風紀上・防犯上の安全さ	交通事故・危険物からの安全さ	空気や川、海のきれいさ	家のまわりの静けさ	公園や緑の豊かさ	通勤・通学の便利さ	買物の便利さ	病院や医院までの近さ	休日、夜間などの救急医療体制	市民館、図書館、スポーツ施設などの近さ	市や区の窓口サービス
多摩区	37	39	50	51	65	61	67	58	55	36	35	45
全体	39	40	46	39	61	57	69	67	62	37	41	47

図 3 - 7 多摩区生活環境満足度



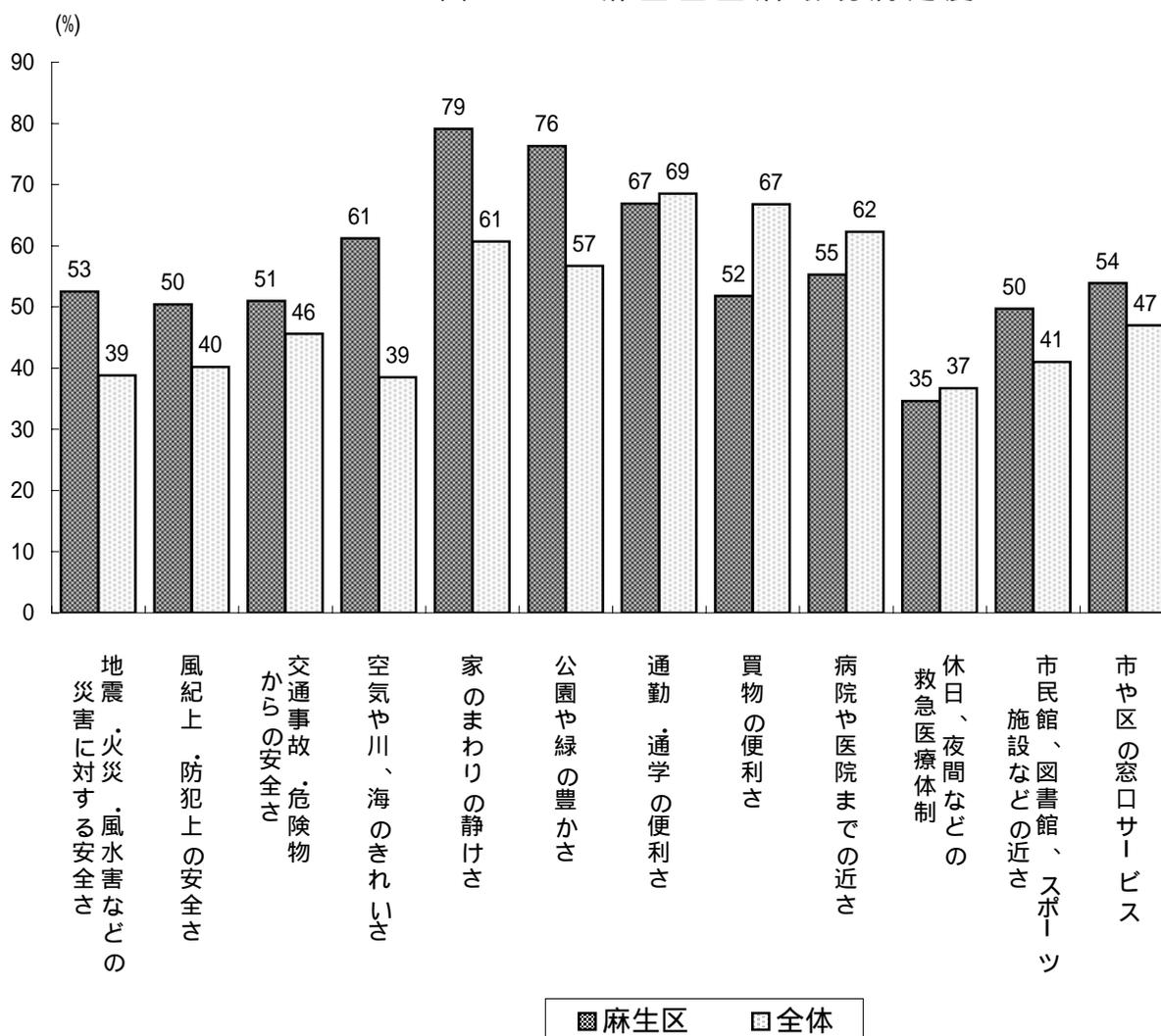
多摩区の生活環境満足度では、「空気や川、海のきれいさ」(51%)は市全体平均の満足度より12%上回っている。満足度が市全体の平均を上回っているのは、「家のまわりの静けさ」(65%)、「公園や緑の豊かさ」(61%)、「交通事故・危険物からの安全さ」(50%)である。一方、利便性、サービスはすべての項目で市全体平均の満足度より下回っている。

## 麻生区生活環境満足度

「満足している」+「まあ満足している」= 合計の率で表示

(%)	地震・火災・風水害などの災害に対する安全さ	風紀上・防犯上の安全さ	交通事故・危険物からの安全さ	空気や川、海のきれいさ	家のまわりの静けさ	公園や緑の豊かさ	通勤・通学の便利さ	買物の便利さ	病院や医院までの近さ	休日、夜間などの救急医療体制	市民館、図書館、スポーツ施設などの近さ	市や区の窓口サービス
麻生区	53	50	51	61	79	76	67	52	55	35	50	54
全体	39	40	46	39	61	57	69	67	62	37	41	47

図 3 - 8 麻生区生活環境満足度

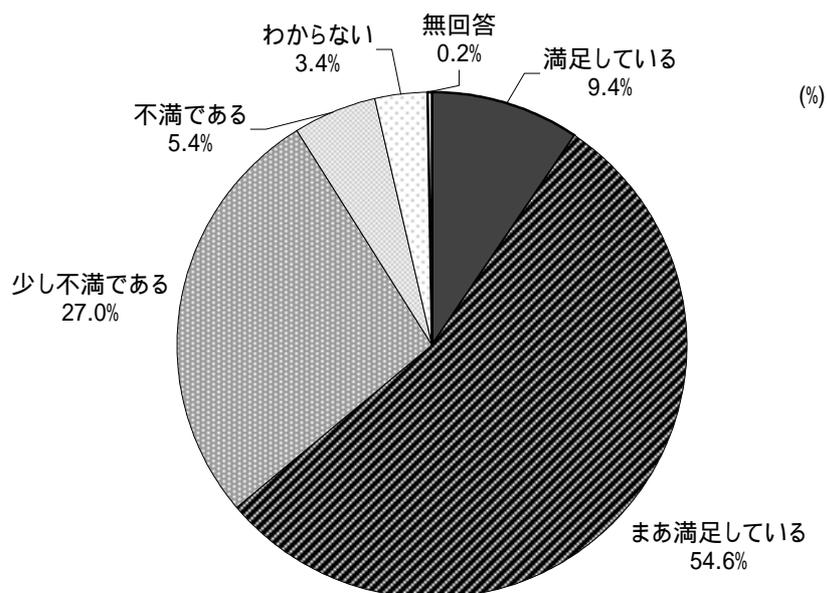


麻生区的生活環境満足度では、安全性、自然環境、「市民館、図書館、スポーツ施設などの近さ」、「市や区の窓口サービス」は、市全体平均の満足度よりも上回っている。特に、自然環境の項目は市全体平均の満足度と比べて15%以上高くなっている。一方、麻生区での「買物の便利さ」における満足度は52%で、川崎市全体平均の67%と比べると、15%下回っている。

## (2) 総合的な評価

問4 では、地域の生活環境を総合的にみた場合、今住んでいる地域に、どの程度満足していますか。(1つだけ)

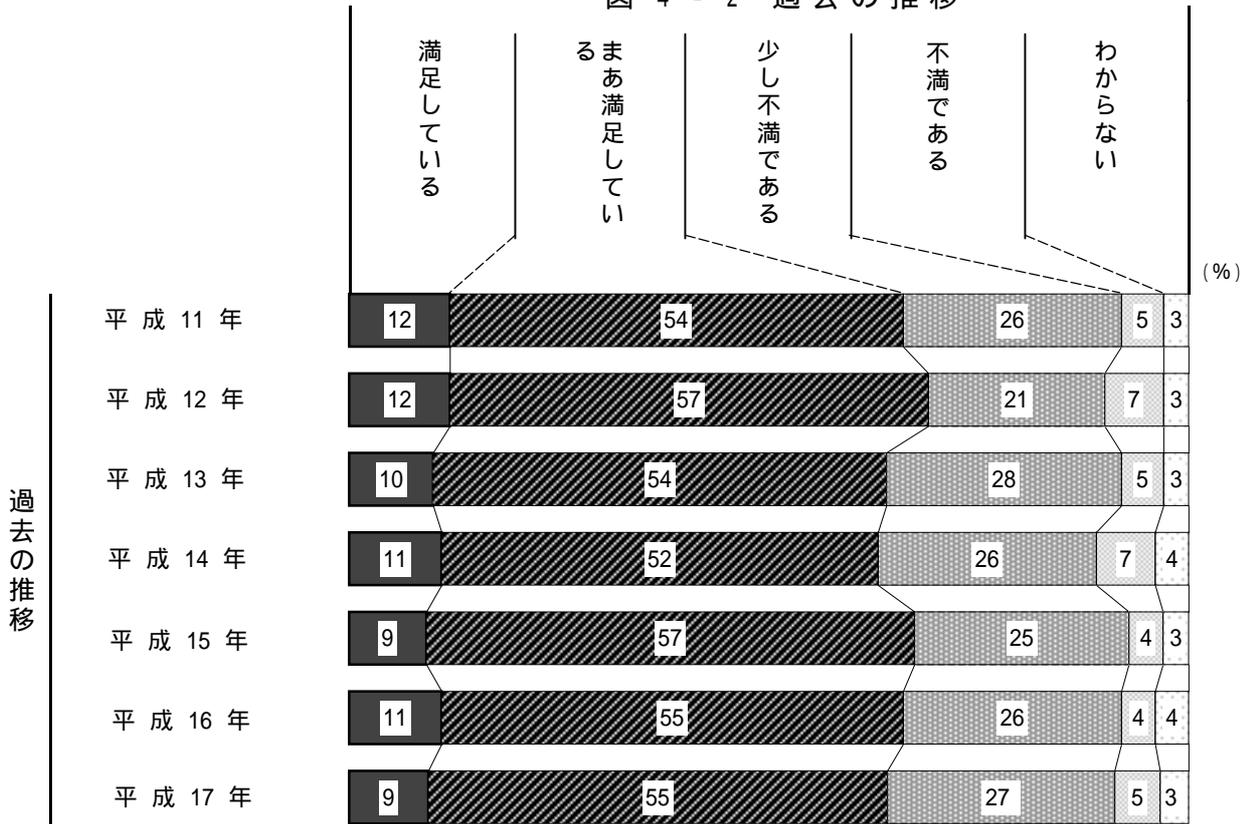
図 4 - 1



【全体 = 988】

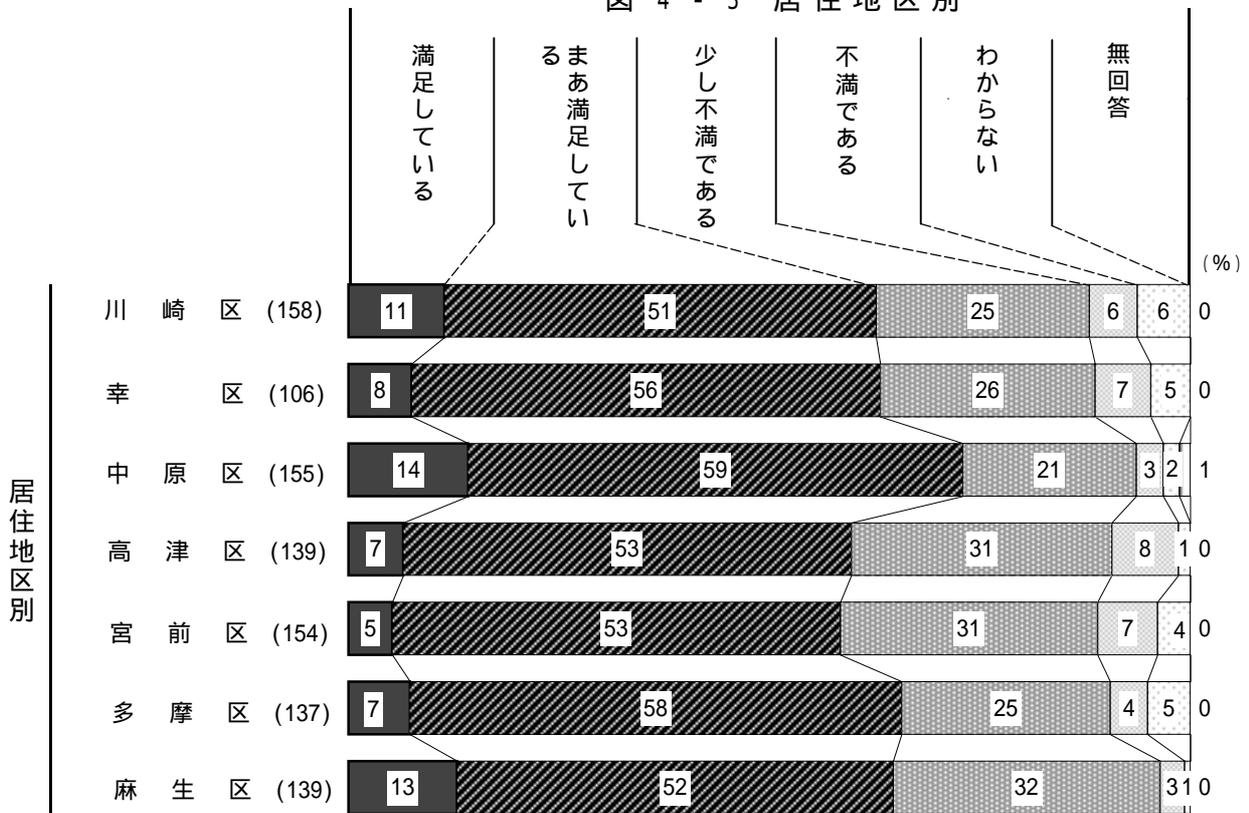
地域の生活環境に対する総合的満足度では、「まあ満足している」が最も多く54.6%を占め、これに「満足している」(9.4%)を合わせた満足度は64.0%である。一方、「不満である」(5.4%)と「少し不満である」(27.0%)を合わせた 不満派 は32.4%となっている。

図 4 - 2 過去の推移



過去の推移では、昨年の満足度（66%）と比べ今年の満足度（64%）は2%低下している。

図 4 - 3 居住地区別



居住区別の満足度では、中原区が73%で最も高い。一方、最も低いのは宮前区で58%である。